

令和8年度 なとり児童発達支援センター 支援プログラム

監修：宮城学院女子大学 名誉教授 足立 智昭

法人理念

安全で安心できる環境の中で毎日を楽しく過ごし、好きなあそびや運動を通じて、お子さまが自分のよいところに気づき、自信をもてるようになる療育を行います。地域療育の中核を担う施設として総合的な支援を提供しながら、子どもたち一人ひとりが「今」をより良く生き、望ましい未来を自ら作り出していけるようサポートします。

支援方針

なとり児童発達支援センターは、多様な支援ニーズに対応し、支援につながる5領域の評価を行います。また、合理的配慮の提供により、子どもが潜在力を発揮し、最善に育っていくための環境づくりを行います。何よりも“遊び”を通して、運動能力・認知能力・言語発達・五感や身体感覚の状態をていねいに観察し、お子さまの全体像を把握します。そのうえで、その子に適した方法を用いて、心身の成長を促すことを目指します。

基本目標

①	生活や遊びを通して経験を豊かにし、発達を促進する
②	基本的な生活習慣の自立を支援する
③	親子の心身の安定を図る
④	保護者が子どもへの理解を深め、適切な援助スキルを習得する
⑤	地域社会との積極的な交流を図り、共に育ち合う

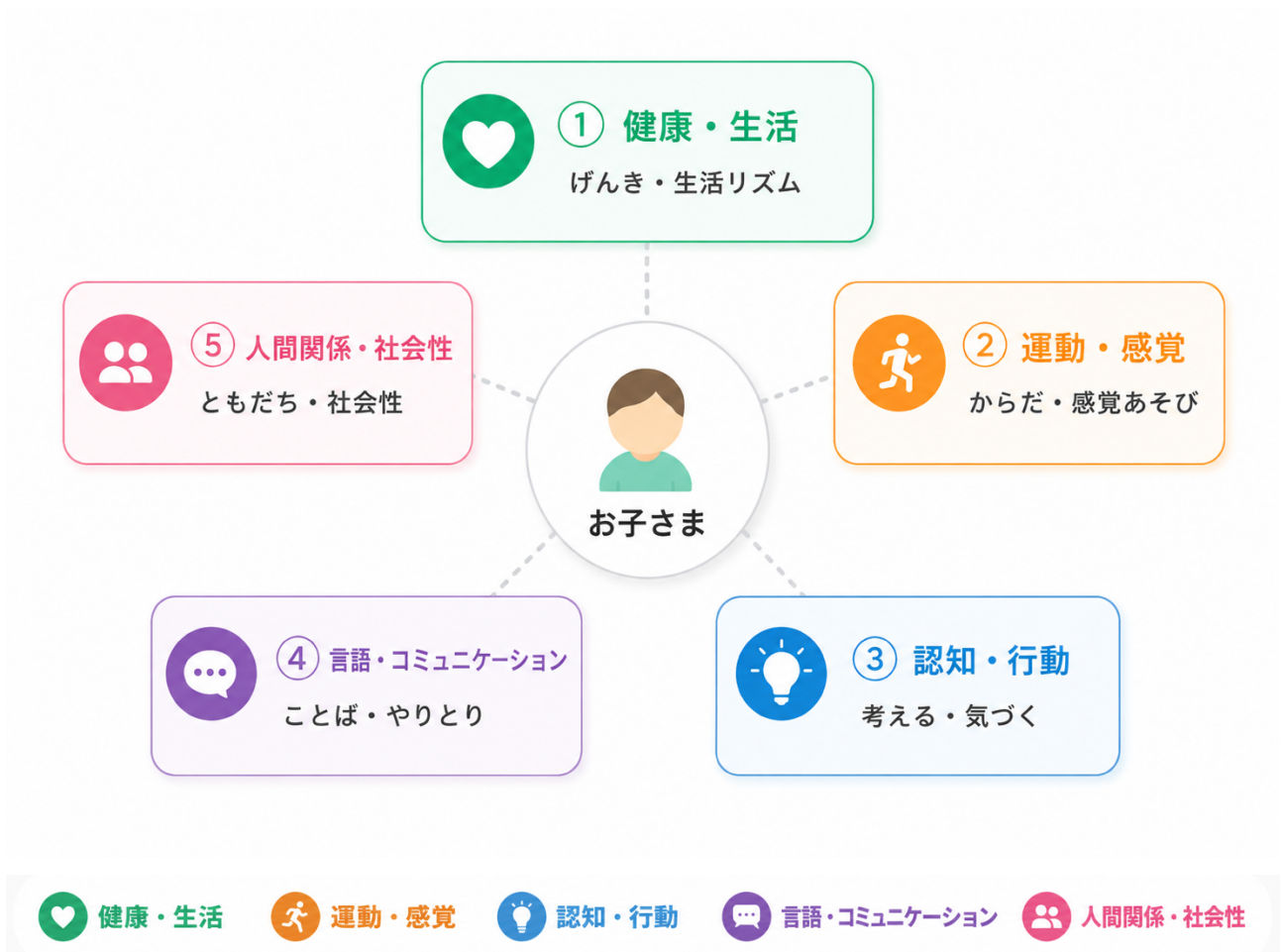
サポート概要

通園方法	親子通園（午前クラス：おひさま） 単独通園（午後クラス：そらいろ） 個別支援（午前・午後1時間程度の支援：にじいろ）
対象年齢	0～6歳までの未就学児

定員	1日30名
サポート提供日	月～金曜日（年末年始 12/29～1/3・祝日を除く）
サポート提供時間	午前クラス（親子通園） 9:00～12:30 午後クラス（単独通園） 14:00～17:00 Aコース 14:00～17:00 / Bコース 14:30～17:00 / Cコース 15:00～17:00
サポート提供地域	主に名取市（仙台市・岩沼市・亶理町・山元町・多賀城市など、近隣市町村にお住まいの方でもご利用いただけます）
送迎の実施	午前クラス：親子通園のため送迎なし 午後クラス：所属先からセンターまで、幼稚園バスによる送迎を行っています。（帰りはお迎えが必要です）

発達支援の視点 — 5領域

当センターは、支援につながる「5領域」の視点でお子さまの育ちを見つめ、評価を行います。すべてのプログラムは、この5つの力のいずれか（または複数）とつながっています。各プログラムの「関連する5領域」欄には、下のバッジで領域を示しています。



発達支援プログラム

基本目標①～③にそって、日々の保育・療育の中で行うプログラムです。それぞれのねらいと、関連する5領域を示しています。

プログラム	ねらい・支援内容	関連する5領域
基本目標① 生活や遊びを通して経験を豊かにし、発達を促進する こども基本法 第3条（第1項・第4項・第5項）		
朝の会・帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心した気持ちで一日をスタートできるよう、活動予定を知らせ、楽しみをもって過ごす ・ 同じ空間で過ごすことで、楽しさや心地よさの気持ちを育てる ・ 「明日もまた来たい」と思えるよう、一日の区切りをつける 	① 健康・生活 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
リズム運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の使い方を知り、自信をもって身体を動かす ・ 音の変化に気づき、保護者・保育者・友だちの動きを模倣する ・ 親子で一緒に身体を動かす楽しさを知り、友だちの動きに興味をもつ 	① 健康・生活 ② 運動・感覚
季節の行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節の移り変わりや伝統行事を知る ・ 親子で行事に参加することで楽しさを味わう 	④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
園外保育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人や他の児童との交流の機会をもつ 	⑤ 人間関係・社会性
課題活動（援助課題・自立課題）	<p>【援助課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人とやりとりしながら課題に取り組み、コミュニケーションの力を育む ・ スモールステップで興味・関心の幅を広げ、「わかる」「できる」を増やして自己肯定感を育てる <p>【自立課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初から最後まで一人でやりきる経験を重ね、自立する力と自信を育む ・ 見て分かることを増やし、一人で学習・作業などの活動に取り組めるようになる 	③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
基本目標② 基本的生活習慣の自立を支援する こども基本法 第3条（第1項・第2項・第3項・第4項・第5項）		
排泄・着脱・食事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の自立を促し、生活の動作を身につける ・ 一人ひとりに合わせた排泄リズムを把握する ・ 食に興味をもち、匂いや見た目を楽しみ、さまざまな食材に触れる ・ みんなで一緒に食事をとることを楽しむ 	① 健康・生活 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
基本目標③ 親子の心身の安定を図る こども基本法 第3条（第2項・第4項・第5項）		
造形遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手先の巧緻性を高める ・ 出来上がりを喜び、達成感を味わう ・ さまざまな素材に触れる機会をもつ 	③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性

プログラム	ねらい・支援内容	関連する5領域
体育遊び	<ul style="list-style-type: none"> 達成感を味わい、身体を動かす楽しさを感じる ボディイメージをつける 情緒の安定を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ② 運動・感覚 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
交流保育	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活を体験し、円滑な就学準備を行う機会をつくる ともに過ごす子どもから刺激を受け、社会性を身につけ学ぶ 他園の子どもや地域の大人との触れ合いを通して、心や知能の発育を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
感覚統合遊び（トレーニングルーム）	<ul style="list-style-type: none"> 体力をつけ、体の使い方を知る 情緒の安定を図る ボディイメージをつける 	<ul style="list-style-type: none"> ① 健康・生活 ② 運動・感覚
お外遊び（プレイパーク）	<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じながら情緒の安定を図る 体力をつけ、体の使い方を知る 感覚の幅を広げ、ボディイメージをつける 	<ul style="list-style-type: none"> ② 運動・感覚 ④ 言語・コミュニケーション

家族支援（基本目標④）

- 保護者の不安を軽減する子育て支援として、日々のコミュニケーションを通じて相談支援や情報提供を行います。
- 「ペアレントプログラム」を通して、子どもへのより良い関わり方を学ぶ機会を提供し、安定した愛着形成を促します。
- 作業療法士の療育相談を通して、子育ての不安に対する具体的な手立てを学べるよう支援します。
- 心理士による子育て相談・カウンセリングを行い、保護者の心理面を支えます。
- 保護者会を開催し、保護者同士の交流の場を提供します。
- レスパイト事業を実施します。
 - カフェ・レスパイト：カフェなどで、保護者がリラックスできる時間を提供します。
 - レスパイト・プラス+：月2回程度、センター外でリフレッシュしていただく機会を設けます。
- 行事の提供（主な行事は別項に記載）。

【支援体制】

保護者会（交流会・勉強会） / 作業療法士による療育相談 / 心理士による相談 / 先輩ママのお話を聞く会 / ペアレントプログラム

関係機関連携

- 利用児童が併用する保育所・幼稚園・認定こども園や、状況に応じて連携が必要な保健センター、こども家庭センター、その他の関係機関との情報共有や連絡調整などの連携を行います。

【主な連携先】

市役所（社会福祉課・こども支援課・教育委員会） / こども家庭センター / 保健センター等 / 保育所・幼稚園・認定こども園等 / 相談支援事業所 / 他事業所 / こども福祉連絡会（自立協） / 宮城県医療的ケア児等相談支援センター（ちるふぁ） / みやぎサポートケア



インクルージョン（移行支援）（基本目標⑤）

- ・ 障害の有無にかかわらず、すべての子どもが安心して共に暮らせる社会の実現に向けて、各種の子ども施策や関係機関との協力・連携を通じて発達支援を行います。保育所や幼稚園等との並行通園を経て、地域の保育・教育の支援が受けられる環境を整えます。
- ・ 交流保育を実施し（認定こども園 なとりこども園・なとり第2こども園）、子どもたちの社会的な適応力を育みます。
- ・ 保育所等訪問支援事業を通じて、地域の保育施設との連携を図り、支援を必要とする子どもが円滑に適応できるよう支援します。
- ・ 地域との交流の機会を設け（地元小学校、四園交流〔増田保育所・みのり園・ぴっぴ名取〕、ボランティア団体・育成会との交流）、地域社会とのつながりを深めるとともに、子どもたちの社会性を育成します。

こども基本法 第3条 (第4項・第5項・第6項)



職員の質の向上（園内研修）

- ・ 療育の質や支援技術の向上を目的に、専門研修への派遣や園内研修を毎月実施し、多様化・複雑化する発達課題に対応できる人材の育成に努めます。
- ・ 園内研修：救命救急、感染症対策、子どもの人権・虐待防止、感覚統合、援助課題・自立課題等
- ・ 園外研修：虐待防止、強度行動障害、福祉と教育の連携による発達障害支援者研修会等

こども基本法 第3条 (第1項・第2項)



主な行事

交流保育（認定こども園）	季節のお楽しみ会	歯磨き指導（年2回）
交通安全教室（年2回）	運動会	クリスマス会
個人面談（随時）	進級・卒園式	誕生会（毎月／季節行事を含む）

こども基本法 第3条 (第2項・第6項)



専門的支援

専門職が、5領域の評価にもとづいて行う支援です。「運動感覚支援」「言語・食事支援」に加え、令和8年度より「心理支援（心理士による個別支援）」を加えた3本柱で、一人ひとりの発達をよりきめ細かく支えます。

専門的支援の3本柱



【専門的支援①】運動感覚支援（理学療法士・作業療法士）

プログラム	ねらい・支援内容	関連する5領域
運動（粗大）		
運動遊び（マット遊び）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体を動かすことでちょうどよい覚醒を保ち、情緒の安定を図る ・ さまざまな運動の経験から身体の動かし方や使い方を学ぶ（ボディーイメージの形成） ・ 好きな遊び・楽しいと思える遊びから多くの感覚刺激を受け取る 	<ul style="list-style-type: none"> ② 運動・感覚 ⑤ 人間関係・社会性
サーキット遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな動きを経験し、身体の動かし方や使い方を学ぶ ・ 揺れる・登るなどさまざまな感覚を入力し、感覚の統合を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ② 運動・感覚 ③ 認知・行動
運動・感触（微細）		
小麦粉・片栗粉遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの中から触覚を入力する ・ 手指の使い方や道具の使い方を知る ・ 友だちや大人と一緒に遊ぶことで楽しさを共有する ・ 玩具の順番待ちや貸し借りの経験からやりとりを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ② 運動・感覚 ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性

プログラム	ねらい・支援内容	関連する5領域
新聞紙・花紙遊び	<ul style="list-style-type: none"> 破るなどの遊びから手指の使い方や力加減を学ぶ 新聞紙や花紙が舞う遊びを楽しみ、目の動きを誘発する 抽象的な遊びを楽しむ 新聞紙などで目的物を作る遊びから想像力を育む 	<ul style="list-style-type: none"> ② 運動・感覚 ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
線なぞり・迷路	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆を持つ手を押さえる練習を行い、両手の使い方を知る 目で追うことで追視ができるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ② 運動・感覚 ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション
感覚		
ふれあい遊び	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを取り巻く大人との愛着を形成する 触る・触られる経験から身体に感覚を入力し、身体のイメージをつける 触られること・触ることに慣れ、遊びの幅を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ② 運動・感覚 ⑤ 人間関係・社会性
バランスボール	<ul style="list-style-type: none"> 体幹や手で身体を支える経験をする 固有覚・前庭覚を楽しんで入力する経験をする 「もう一回やりたい」気持ちを発信につなげ、大人とのやりとりを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ② 運動・感覚 ④ 言語・コミュニケーション
ブランコ	<ul style="list-style-type: none"> 心地よい前庭覚刺激を経験する 自分で体幹を支える経験をする 感覚刺激の偏りに対応する（乗り方によって入る刺激の量などを調節できる） 	<ul style="list-style-type: none"> ② 運動・感覚 ③ 認知・行動
模倣		
ピクニック遊び・見立て遊び・ごっこ遊び	<ul style="list-style-type: none"> 友だちや大人の真似をしながら遊び、楽しい気持ちを共有する 遊びの中での自然なやりとり（ジェスチャーなどを含む）を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性

【専門的支援②】言語・食事支援（言語聴覚士）

プログラム	ねらい・支援内容	関連する5領域
言葉・コミュニケーション		
認知的遊び・代替手段による発信・音声言語の促し	<ul style="list-style-type: none"> 玩具を使用した認知的遊び（プットインなど）に取り組む 音声言語に限らず、身振りや絵カードといった代替手段を用いて発信行動を習得する 音声言語の理解と表出を促す 状況理解の促しや他者への意識を育む 他児や大人と関わり、やりとりの楽しさを知り、コミュニケーション意欲を育む 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
食事		
安全な食形態・偏食への支援	<ul style="list-style-type: none"> 機能発達に応じた安全な食形態を提案・相談する 食物の見え方や食感の変更を提案・相談する 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性

プログラム	ねらい・支援内容	関連する5領域
	<ul style="list-style-type: none"> 一口量や食べるペースを調整する おいしく安全に食事をし、食事への興味を育てながら食べる経験を積む 偏食に対して、食べられるものを一つでも増やせるようにする 	

【専門的支援③】心理的支援（公認心理師・臨床心理士）

心理士が、発達検査や行動観察などのアセスメントにもとづき、一人ひとりに合わせた個別支援を行います。安心できる関係の中で、情緒の安定・自己肯定感・対人スキル・認知機能などを育みます。

プログラム	ねらい・支援内容	関連する5領域
心理アセスメント （発達・行動の理解）	<ul style="list-style-type: none"> 発達検査や行動観察を通して、認知・情緒・行動の特性を多面的に把握する 得意なこと・苦手なことを整理し、一人ひとりに合った支援計画づくりに活かす 支援の成果を定期的に評価し、関わり方を見直す 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
情緒の安定と自己肯定感を育む個別支援	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる一対一の関係の中で、自分の気持ちを表現する経験を重ねる 成功体験を積み重ね、「できた」という実感から自信を育む 遊びを通して気持ちの安定と心の抛りどころをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ① 健康・生活 ③ 認知・行動 ⑤ 人間関係・社会性
感情理解・自己コントロールの支援	<ul style="list-style-type: none"> 自分や相手の気持ちに気づき、言葉やサイン（絵カード等）で表す力を育てる 気持ちの切り替えや、不安・興奮への落ち着き方を一緒に見つける 見通しをもつことで、安心して活動に取り組めるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
ソーシャルスキル・対人関係の支援（SST）	<ul style="list-style-type: none"> 遊びややりとりを通して、順番・貸し借り・要求・援助要請などの対人スキルを育む 小集団での関わりから、友だちと過ごす楽しさや関わり方を学ぶ 相手の気持ちを想像し、折り合いをつける経験を重ねる 	<ul style="list-style-type: none"> ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性
認知機能・学習面へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> 注意の向け方、記憶、見る力（視知覚）などの認知機能に働きかける 視覚的な手がかりや活動の構造化により「わかる・できる」を支える 就学に向けて、机上課題に落ち着いて取り組む力を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション

心理士は、保護者の方への心理的支援（子育て相談・コンサルテーション）も行い、**家族支援（基本目標④）**と連動します。お子さまの特性理解を深め、家庭と園で一貫した関わりにつなげます。